術後早期の TENS および加速度計フィードバックを用いた多面的リハビリテーション治療が橈骨遠位端骨折術後の疼痛・機能・上肢使用量に与える影響：観察研究に対するご協力のお願い

研究責任者　三好雅之
研究機関名　社会医療法人　黎明会　北出病院
所属）リハビリテーション科

このたび当院では、下記の研究を当院倫理委員会の承認および法人代表の許可のもとで実施いたします。本研究は、通常診療の範囲内で行われた情報を匿名化して解析する非介入型の観察研究です。新たな検査や治療、費用の発生は一切なく、患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究にご協力を望まれない方は、下記の連絡先までお申し出下さい。

１　研究課題名
承認番号：令和 7-4
研究課題名
術後早期の TENS および加速度計フィードバックを用いた多面的リハビリテーション治療が橈骨遠位端骨折術後の疼痛・機能・上肢使用量に与える影響：症例研究

２　研究組織
研究機関：社会医療法人 黎明会 北出病院 リハビリテーション科
研究責任者：三好 雅之

３　本研究の目的
　橈骨遠位端骨折術後に行われる経皮的電気刺激による疼痛管理および加速度計による上肢活動量の評価を通じて、疼痛・機能・上肢使用量の関連を明らかにすることを目的としています。本研究により、術後疼痛管理およびリハビリテーションプログラムの改善に役立つ知見が得られると考えています。

４　対象となる方
2024 年 1 月～2028 年 12 月に当院で橈骨遠位端骨折の手術を受け、術後リハビリテーションを施行された患者さんのうち、疼痛管理の一環として経皮的電気刺激を実施し、加速度計による上肢活動量評価を実施した方が対象です。対象となるのは、通常診療の範囲内で既に得られた記録・データであり、新たにご協力をお願いすることはありません。

５　研究方法
・診療記録およびリハビリテーション記録（疼痛評価・関節可動域・上肢活動量・心理的評価など）を匿名化して集計・解析します。
・個人を特定できる情報（氏名、住所、患者 ID など）は使用しません。

・結果は統計的に処理され、集団としての傾向が学会発表・論文等で報告されます。

６ 研究実施期間
倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日

７ プライバシー保護について
1）すべてのデータは匿名化し、個人が特定できないように処理します。
2）匿名化データと元データを結びつける連結情報は研究責任者が厳重に管理し、研究終了時に完全に削除します。
3）研究成果は匿名化された集計データとしてのみ公表され、個人を特定できる情報は一切含みません。

８　ご協力について
本研究はオプトアウト方式で実施します。
データの利用を希望されない場合、またはご不明点がある場合は、下記の連絡先までお申し出ください。申し出がない場合には、同意をいただいたものとして扱います。

９ お問い合わせ先
本研究に関するご質問や、研究への情報利用を希望されない場合は、下記までお申し出ください。
社会医療法人 黎明会 北出病院 リハビリテーション科
理学療法士　湯田 智久
〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 728-4
TEL：0738-24-3007（リハビリ室直通・平日 8:30～17:30）